

平成18年

12月定例議会開催

平成18年12月定例会議会が12月5日から21日までの日程で開かれた。

17年度一般・特別会計及び企業会計の決算を承認。

18年度一般会計補正予算をはじめ48議案が提出され、質議がなされた後、原案どおり可決された。

「さあ前進しよう
元氣な小城市づくりに向けて」



小城市議会議長
南里 和幸

昨年は春の豪雨、収穫を前にしての台風十三号の襲来と大変な一年でありました。

そして合併三年目の今年、来年は将来の小城市の礎を確立する年であります。しかし現状は厳しいものがあります。強い意志と市民皆様の一致結束もまた必要であります。

日本の経済は少しずつ良くなっている一方で都市との地方との格差、少子高齢化、人口減少などなどがこれまで以上に進み、更にはこれまで外国との競争は大企業あるいは日本全体であったのが地域が直接競争する時代になり、地域が各々で競争

で勝てる力をそなえていかなければならない。まさに地方の力がためされる時代が来ようとしています。ふり返って議会もこの一年議会改革に取り組んで参りました。まず

改選後、報酬等検討委員会を立ち上げ、それなりの結論を得、次に議会運営委員会での議会のあり方など今も継続して審議中です。

今後議会改革は議員一丸となって取り組んで参ります。終わりに今年が市民の皆様にとって幸多い充実した一年でありますようにご祈念申し上げます。

激甚災害に指定される

平成十八年十一月十五日政令公布・施行

平成十八年九月十七日襲来し大被害をもたらした台風十三号に対して、議会ははじめ多方面からの陳情があつて激甚災害並びにこれに対し適用すべき措置の指定に関するものについて政令公布施行された。



▲被害を受けた芦刈29番棟（北部共乾）（左）と三日月南部共乾（右）

小城市本庁方式移行検討特別委員会を設置

小城市役所は現在分庁方式を採用しているが、合併協議会において「五年を目途に本庁方式へ移行する」ことが確認されている。平成十七年度八月に庁舎内での検討委員会が設置され、十八年九月まで五回開かれ

① 既存庁舎以外の場所への本庁舎の新築

② 既存庁舎の場所に増築、または改築

の二案がとりまとめられた。それを基に十一月に有識者、市民代表による



▲12月27日第1回目開かれる

小城市本庁方式移行検討特別委員会名簿 H18.12

委員会の名称	委員
小城市本庁方式移行検討特別委員会 (委員 12名)	上瀧 政登 議員 (委員長)
	大坪 徳廣 議員 (副委員長)
	諸泉 定次 議員
	中島 正樹 議員
	江島佐知子 議員
	深川 高志 議員
	岸川 英樹 議員
	香月チエミ 議員
	合瀬 健一 議員
	金原 修光 議員
	松尾 義幸 議員
	明石 壽彦 議員